

学校教育目標 ◎かしこく ◎なかよく ◎たくましく ◎心ゆたかに

新年のスタートにあたり 「節目」

校長 玉川 徹

今年も皆様にとって実りある、幸多き朗らかな1年でありますように。

今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

さて新しい年の幕開けです。

冬休みという大切な時間を、子どもたちはどのように過ごしたのでしょうか。のんびり過ごしたのでしょうか。家族の時間を大切に、いろいろと忙しい時間を過ごしたのでしょうか。新しい年です。後ろを振り返るのはよしましょう。前を向いて、しっかりと前に進んでいきましょう。今、子どもたちの目の前には大切なまっさらな時間がたっぷり用意されています。そして、その使い方は子どもたち自身に委ねられています。お年玉よりなにより貴重な財産です。さあ、新しい年の幕開けです。がんばりましょう。

「地震が来たら竹やぶに逃げろ」という言葉もあるくらい、竹はほかの木に比べてとても強いと言われます。地中に深く広くしっかり根を張っているから滅多なことでは倒れないということが一つ。そしてもう一つは硬くて強い「節」があるから倒れないということです。もし、竹に節がなくて一本の空洞だったらとっても弱いものでしょう。実は、「節」は人間にとってもとても大切です。目に見える「節」ではないけど、新年、大晦日、始業式、終業式、修了式、新年度、新学期・・・一年の間には社会的に決まったいろいろな「節目」があります。これらの「節目」をどう意識して過ごしていくか。

たとえば、「二学期の終わり」というのは、どの子にも来ます。そして、お正月が来て新年を迎え、「三学期のスタート」があります。これを「節目 = 一つの大きな区切り」と捉えて、「終わり」に向けて、意識やエネルギーを集中的に投下して締めくくり、次に来る「始まり」にまた強い気持ちをもって臨む・・・そういうことを繰り返すことで、生きていく中での「節」をしっかり作って強くなってほしいと思います。

- ・「節目」あってこそその「やる気」
- ・「節目」あってこそその「成長」
- ・「節目」あってこそその「再起」

こんなことを自覚し、「節目」「節目」を大切にしていきたいものです。

2017年、平成29年が、
皆様にとって素敵な一年になりますように。

平成29年1月1日 午前6時58分ごろ
泰平小学校屋上より 初日の出

